

まち再生出資業務

北海道ボールパーク(仮称)建設計画 (HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE)

北海道／北広島市



ボールパーク鳥瞰

PROJECT

プロジェクトの概要

本事業は、収容人数 35,000 人規模となる新球場を整備するとともに、野球以外の要素も取り入れた周辺施設を段階的に整備し、北海道のシンボルとなる広域交流拠点として、進化していくまちづくりを目指す計画（ボールパーク構想）です。

新たな観戦環境を取り入れた新球場、多様な周辺施設及び緑地、広場等の公共施設を建設することで、より多くの来場者を呼び込み、賑わいのあるコミュニティ空間を醸成することに貢献します。

民間企業の出資と併せて MINTO 機構が出資することにより、事業の立ち上げ支援を行います。

| | |
|----------|-----------------------------|
| 事業地 | ▶ 北海道北広島市共栄（きたひろしま総合運動公園） |
| 事業者 | ▶ 株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメント |
| 事業施行期間 | ▶ 令和2年5月～令和4年12月（竣工予定） |
| 公共施設等の概要 | ▶ 緑地、広場、道路 |
| 支援の形態 | ▶ 普通株式の取得 |
| 支援年月日 | ▶ 令和2年1月17日 |

位置図





スタジアムパース

MINTO 機構による出資の意義・効果

本事業は、北広島市のきたひろしま総合運動公園予定地に「球場を核としたまちづくり」をテーマとし、北海道のシンボルとなる広域交流拠点を整備する官民連携事業です。

球場と周辺施設として宿泊、レジデンス、飲食、アリーナ、自然アクティビティ、温浴、スポーツメディカル、教育・保育などの施設を段階的に整備、進化していくまちづくりを目指し、多様な世代がスポーツを通じて触れ合うコミュニティ空間を創出し、地域の活性化が期待されます。

VOICE
事業者の声

「株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメント」

代表取締役社長 川村 浩二

当社は、北海道北広島市に2023年開業予定の『ES CON FIELD HOKKAIDO』を運営するために設立された株式会社です。あわせて、当社はプロ野球『北海道日本ハムファイターズ』の野球興行も担っております。

ES CON FIELD HOKKAIDOを中核とする『HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE』は、北海道の空の玄関口である新千歳

空港と人口約197万人の札幌市の中間地点に位置しています。北海道日本ハムファイターズの新しい本拠地球場となるES CON FIELD HOKKAIDOは、2023年開業に向けて建設工事を進めております。

ES CON FIELD HOKKAIDOは、開閉式の屋根を有する日本初の野球場であり、開閉式屋根の採用により天然芝フィールドを実現することが可能となり、野球選手が能力を最大限に発揮できる野球場となる予定です。加えて、360度コンコースの整備やグラウンドレベルに限りなく近い座席など様々な席種の配置により、観客の皆様に対して従来の野球観戦を上回る高水準のライブエンターテインメントを提供する施設となるように、建設を進めております。

なおプロ野球の開催に加えて、プロ野球の試合開催がない日でもお客様にお越しいただけるように、飲食施設や温浴施設なども整備し、野球観戦以外の楽しみ方も提供する予定です。

新球場を中核とするHOKKAIDO BALLPARK F VILLAGEは、敷地面積約32ヘクタールを有し、野球場に加えて周辺にはホテルや商業施設なども整備予定であり、広大な敷地を活用して野球場を中核とした総合的な開発計画を有しております。

新球場の建設資金には、民間都市開発推進機構様を始めとした株主様による出資金を充当しております。民間都市開発推進機構様の出資により、経営基盤の安定や社会的信用度の向上が図られました。

あわせて、地元自治体である北広島市を中心とした近隣市町村とFビレッジが道民・市民により親しまれる「北海道のシンボル」となるように、現在、鋭意各種協議を重ねております。

Fビレッジが開業後も発展し続けるように、地域と一体となり、今後も準備を進めて参ります。